

団体名	笠岡中央公民館現代詩講座	
	代表者 増成順子	記載者 増成順子
所在地(市区町村名のみ)	笠岡市	
活動目的	詩の鑑賞や創作を通して、心豊かな人生を送ると共に市民の文学活動に寄与する。	
団体の紹介	<p>1996年、笠岡市が笠岡市文学賞「市民の詩賞」(「木山捷平文学選奨」の前進)を設けた翌年、現代詩講座が開講された。著名な詩人の作品、鑑賞と共に、自作詩を持ち寄り、感想を言い合い、感性が錆びないように努力している。初年度から手作りの詩集「あお」の発行を続け、助成を受けて20号を記念号として出版した。</p>	
助成を受けての活動内容	<p>「あお」10集までは、講座生が文字入力・編集・印刷・製本まで全て手作りにした。福武文化財団の助成を受けて、10周年記念号「あお」を出版した。11集から製本だけは印刷業者に依頼した。</p> <p>20周年記念号で「マルセンスポーツ・文化振興財団」の助成を受けることができるとわかり、①元講座生の作品も載せる ②部数を増やし、市関係・報道機関だけでなく、広く贈呈する(各公民館・市外図書館) ③講座生は文字入力だけして、印刷・製本は印刷業者に依頼することになった。</p> <p>ゆとりができたので、年度いっぱい詩の鑑賞や自作詩に取り組むことができ、充実した1年間になった。</p>	
	 	
助成を受けての成果	<p>助成を受け元講座生の作品も掲載したので、読者が広がった。</p> <p>発行部数も例年の1.5倍(200部)に増やしたので、市内外の図書館や各地区公民館にも贈呈できたので、多くの人に読んでもらえた。</p>	
今後の活動の課題点	<p>講座生は、毎年15人前後である。詩の楽しさをわかってもらったり、若い人に興味を持ってもらうための啓発活動が更に必要である。</p>	
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。